

釧路地区 教育経営研究会

- 1 目的 学校運営上の諸問題について、全道の情勢及び釧路地区の実情を交流し、道小・道中校長会の活動に反映させ、もって各学校の経営充実に資する。
- 2 主催 釧路市小中学校校長会 釧路校長会
- 3 主管 釧路市小中学校校長会
- 4 後援 北海道教育庁釧路教育局 釧路管内町村教育委員会連絡協議会 釧路市教育委員会
- 5 日時 令和元年 8月30日(金) 13時より
- 6 会場 釧路教育研究センター
- 7 研究主題 「釧路の風土に学び、心豊かにたくましく生きる力を培う学校経営の推進を目指して」
- 8 日程 12時30分～13時00分 受付
13時00分～13時20分 開会式
13時20分～14時00分 全体会
14時15分～15時40分 分科会
15時50分～16時00分 閉会式
- 9 開会式 主催者挨拶 釧路市小中学校校長会 会長 塩住啓介(釧路市立中央小学校長)
来賓祝辞 北海道教育庁釧路教育局 局長 川端雄一様
釧路市教育委員会 教育長 岡部義孝様
- 10 全体会
 - (1) 活動・情勢報告
北海道小学校長会 事務局長 新井弘通氏(札幌市立南小学校長)
 - ・道小、道中の総会研修会、理事研修会などの会議・教育研究大会に係る活動について
 - ・全国連合小学校長会、全日本中学校長会の総会研修会(2020年度全日中札幌大会)について
 - ・2019年度全国学力・学習状況調査の結果の概要、家庭学習の習慣化の課題について
 - ・日本の教員の長時間勤務の実態、教員の職能開発の時間の少なさについて
 - ・教員志望者数の減少について
 - ・働き方改革の実情、文部科学省から「夏休みに積極的に研修に取り組む」通知の廃止について
 - (2) 釧路地区の質問・要望事項に対する回答
北海道小学校長会 幹事 村上智樹氏(札幌市立発寒西小学校長)
北海道中学校長会 幹事 佐藤誠氏(千歳市立北斗中学校長)
質 働き方改革に係る、職員の出退勤管理の状況
 - ☞ 勤務時間管理は教育委員会、管理職の責務と明確化、勤務管理実態(全校48市町村、一部18市町村)、タイムカード・ICカード、PC打刻・指紋認証等の活用
 - 質 指導方法工夫改善計画書に係る習熟度別指導の効果、今後の配置の見通し
 - ☞ 加配配置状況(小:43.2%、中:51.0%)、H30全国学力・学習状況調査において全ての習熟度実施校で上位、A問題は3ポイント以上上位、今後微増が見込まれる見通し
 - 質 変形労働時間の割振りなしの通年運用
 - ☞ 労働基準法第32条2「1か月単位での変形労働時間規定」・同32条4「一年単位での変形労働時間制の規定」されているが地方公務員法第58条3項「労働基準法第32条4は適用しない」と規定のため4週を超えた活用ができない、令和2年までに法律の改正を予定(令和3年実施の予定)
 - 質 部活動に係る、試合数見直しの要請
 - ☞ 道教育長より道中体連などに要請、3月にスポーツ団体へ直接訪問で要請済み
 - 質 小学校の新学習指導要領運用に係る、時数確保の取組
 - ☞ 英語専科教員(H30:23名)の増員要望、プログラミング教育を既に実施3割・校内研修5割・年間指導計画作成1割・7割の小学校が実施不安、時数確保～卒業式・修了式の期日の遅らせ、長期休業中、モジュールなど
 - 質 免許外指導と持ち時数の偏りの解消
 - ☞ 「適正な配置に努めたい」と回答

質 学校における働き方改革の効果的な実践事例

- ☞ 留守番電話の活用、校務支援システムの導入、スクールサポートスタッフの導入、共同事務室の設置、事務職員による担任業務の軽減、複数の会議の同日開催、ペーパーレス化、職員朝会の廃止や回数の削減、少年団指導の保護者への移行、保護者や地域に勤務時間に周知、道教委への専科教員増加の要望

質 土曜活動（授業）日における、事務職員・栄養教諭等の勤務に関して

- ☞ 特別なものはない

質 定年延長に関して

- ☞ H30 閣議決定（段階的に 65 歳に引き上げ）も法案化は見送られる

質 教育の ICT 化に向けた環境整備に関して

- ☞ 地方交付税に財源措置化されるので市町村教委に要望していく、予算拡大を国に要望

11 分科会

(1) A分科会（校種・規模別 11 グループ編成）

提言 浜中町立浜中中学校長 大崎 治 樹

テーマ 「学校における働き方改革」の着実な推進における取組と校長の役割

- 概要
- ・教員の勤務時間と答申について（北海道アクションプランの改正）
 - ・現状把握（浜中町の全教頭・教諭の在校時間と超過勤務を調査）
 - ・調査結果の分析と校長の役割

グループ協議

- ・業務を減らすことについて
- ・勤務時間の把握について
- ・保護者や地域への説明について
- ・経営方針への位置づけについて
- ・部活動指導員の配置について
- ・校務支援システムの整備について

情報提供・感想

北海道小学校長会 事務局長 新井 弘 通 氏

- ・働き方改革について、システム面での全道・札幌市の取組
- ・地域にどう説明・周知していくか（合田哲雄 文部科学省財務課長の講演から）
- ・今後の動きについて

(2) B分科会（小中合同・規模別 9 グループ編成）

提言 白糠町立白糠中学校長 佐藤 毅

テーマ 白糠小・中学校における一貫教育の取組について

- 概要
- ・小中一貫教育導入の背景・法的根拠とメリット・デメリット、克服すべき課題について
 - ・白糠町における小中一貫教育導入の理由・背景とこれまでの取組・成果・課題について
 - ・これからの取組について

グループ協議

- ・日常的な連携や一貫教育的な取組を行っている小中併置校の抵抗感の少なさ
- ・小中両校種の免許を持った教員の配置や複式校における多学年手当の調整などは課題
- ・小・中学校の違いの調整（授業時間の調整や小6のリーダーシップ、儀式的行事）
- ・適度な中1ギャップ対応への意識の大切さと、入学時における緊張感の必要性
- ・小中学校の教員と一緒に研修、特別支援教育についての連携のメリット

情報提供・感想

北海道小学校長会 幹事 村上 智 樹 氏

- ・札幌市は、小中一貫教育については後進地域である。本会の提言発表を参考に札幌市でも推進を図りたい。改めて小・中学校の教員が連携し、課題を乗り越えながら教育効果を高めていくことに魅力を感じる。

北海道中学校長会 幹事 佐藤 誠 氏

- ・自校の課題が整理されており、ビジョンが明確である。小・中学校に同じ校務分掌があったり、複数回の乗り入れ授業が行われていたりするなど、具体的な取組が素晴らしい。札幌市でも本実践を参考に小中連携を進めたい。

12 閉会式 主催者挨拶（次期主管） 釧路校長会 会長 武山 昇（釧路町立富原中学校長）